

中央市読書調査結果

2014年度

中央市司書会

1. 調査目的

近年、図書館設備をはじめ読書推進運動の社会的な高まりなどによって、子どもたちを取り巻く読書環境は整えられつつある。しかし一方で、子どもの活字離れや不読者増加など、子どもの読書状況は必ずしも好転しているとは限らない現状も報告されている。

中央市では、生涯にわたって読書に親しむまちづくりをめざして「中央市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもたちが読書に関わる様々な機会を提供している。そのような取組の効果を検討し、課題を明確にして、子どもたちの読書環境の充実や読書意欲の向上にむけて読書活動を推進していく資料とするため、中央市司書会では本市の小中学校に通う児童および生徒の読書調査を実施することとした。

この調査は、中央市立図書館と学校図書館とが共同して行うように位置づけ、中央市司書会の研究成果として、「中央市子ども読書活動推進計画（第二次）」の評価判断の一つとする。

2. 概要

子どもたちが読書をすることは、「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年法律第154号）および国の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第一次）」（平成14年8月閣議決定）、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第二次）」（平成20年3月閣議決定）、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第三次）」（平成25年5月閣議決定）、に述べられているとおり、生きる力を身につけていくために不可欠なものである。

それを受けて本市では、毎日新聞社と全国学校図書館協議会が共同で毎年行っている「学校読書調査」を参考にして前身調査「中央市読書調査」（平成20年～平成24年）を行った。5年度にわたり実施してきた成果として、いくつかの課題が明らかとなり、その中で小学4年生から読書離れが進む傾向がつかめた。そこで平成25年度に質問項目を再検討し、平成26年度は「読書に関連する活動」に重点をおいて調査を実施する。

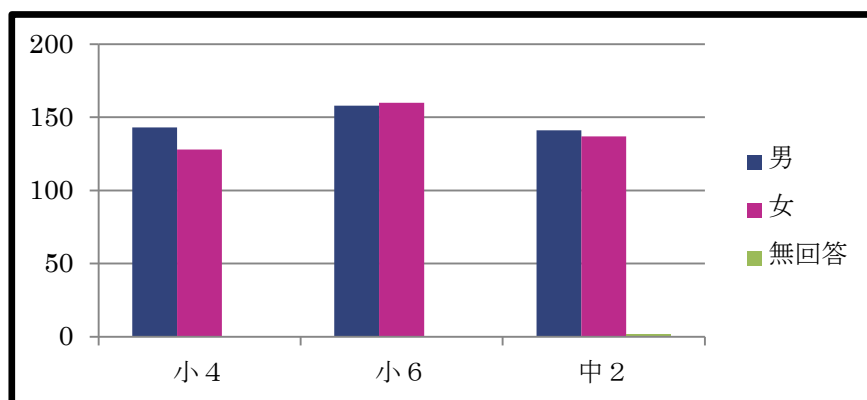
3. 対象学年 市内小中学校に通う小学4年生および6年生、中学2年生

- ### 4. 方 法
- ①実施期間 ： 6月2日（月）から6月13日（金）まで
 - ②集 計 ： クラスおよび学年の集計は各学校が行い、市内全体の集計は市立図書館が行う。
 - ③分析・考察： 中央市司書会が行う。

5. 調査場所 中央市内小中学校 各教室

6. 調査結果

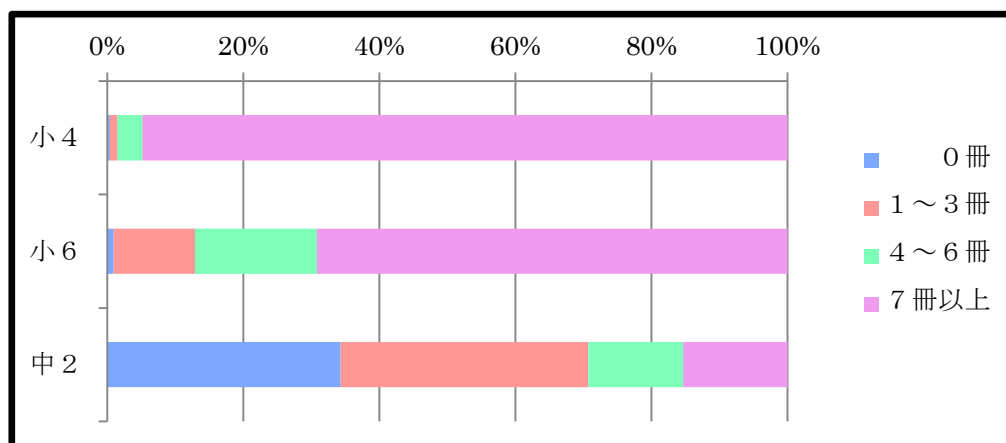
性別



	小4		小6		中2		計	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
男	143	52.8	157	49.4	141	50.4	442	50.9
女	128	47.2	161	50.6	137	48.9	426	49.0
無回答	0	0.0	0	0.0	2	0.7	2	0.0
計	271	100	318	100	280	100	870	100

問1 5月1ヶ月の読書冊数

本を何冊ぐらい読みましたか。



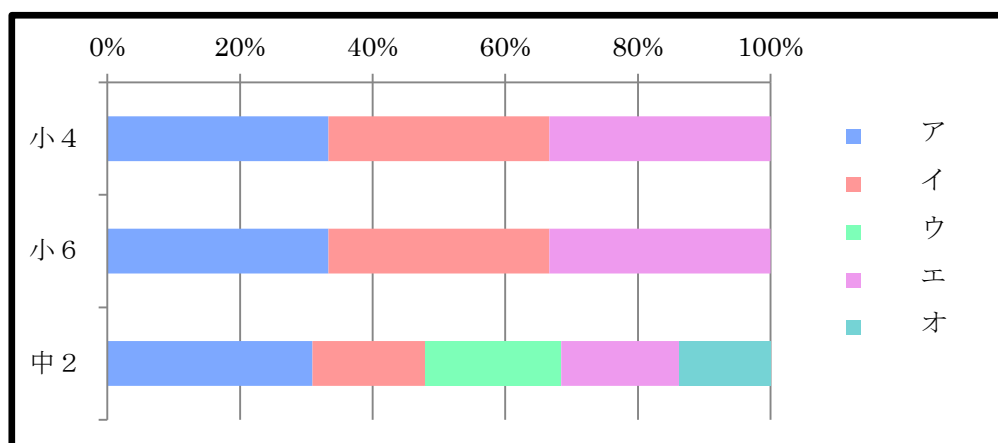
問1	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
0冊	1	0.4	3	0.9	96	34.3
1～3冊	3	1.1	38	11.9	102	36.4
4～6冊	10	3.7	57	17.9	39	13.9
7冊以上	257	94.8	220	69.3	43	15.4

- ・小4・小6は、「7冊以上」読んだと回答した割合が最も多い。
- ・中2は、「1～3冊」読んだと答えた生徒が最も多く、それに次ぐ不読者も3割以上を占めている。
- ・以前行っていた読書調査同様、学年が上がるに従い読書冊数は減少している。

- 小学校の不読者が少なく、1ヶ月に7冊以上読んだ児童が多いのは小学校における読書活動（朝の読書等の取組）が日常的に幅広く行われてきた成果と考えられる。
- 学年が上がるに従い読書冊数が減るという傾向ではあるが、ページ数の多い本に移行することも一因であると考えられる。
- 不読者を少なくしていくためには、小中学校における読書活動をさらに活性化させ、継続していくと共に、個々の児童・生徒の状況や個性を把握し、一人ひとりに見合った読書指導をしていくことが望ましい。

問2 読まなかった理由（複数回答）

「1」の質問で「0冊」と答えた人に質問します。



- ア 習い事や塾、スポーツ中2は部活があるから
 イ テレビを見たりゲームをしたりするから
 ウ パソコンやスマホでインターネット等をするから
 エ 本を読むのが面倒に感じるから
 オ その他

	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア	1	33.3	1	33.3	47	30.9
イ	1	33.3	1	33.3	26	17.1
ウ	0	0.0	0	0.0	31	20.4
エ	1	33.3	1	33.3	27	17.8
オ	0	0.0	0	0.0	21	13.8

<その他の回答>

【中学2年生】

マンガを読むから (3)・本が苦手だから (3)・本を読もうと思わないから (2)・本当は行きたいけど忙しく行く暇がない (借りに行く時間がない)・家の本を読んでいるから・雑誌を読むから・機会が少ないから・本に興味を持てないから・読みたい本がないから・本が嫌いだから・本を読むのが好きではないから

■考察

- ・小4・小6は「習い事やスポ少」・「テレビを見たりゲームをしたりするから」・「本を読むのが面倒だから」との理由をあげている。
- ・中2は、「習い事や塾、部活」と読まない理由の割合が多く、次いで「インターネットをする」が多い。

○中学生になると部活や勉強などで忙しくなり、読書に充てる時間が少なくなることが見えてきた。また、テレビ、ゲーム、パソコン、インターネットなどの情報機器の使用を理由に挙げる生徒も多く、電子機器が生活の中に浸透し、子どもたちの読書環境に大きく影響しているかが伺える。

○読まなかった理由に「習い事」については家庭の事情もあるので、止むを得ないが、ゲームやインターネットに費やす時間を、少しでも読書に転換していくことのできる環境づくりや働きかけを考えていくことも必要である。

問3（小学生） 好きな本

本の題名またはシリーズ名を書いてください。

【小学4年生】

〈本の題名またはシリーズ名〉

	分類9	分類0～8
好きな本	ジャコのおかしな学校(3)・アナと雪の女王(2)・はなこ八月七日にひろったこねこ(2)・ブックスパイ・ヨム・へんしんかいじゅう・北の馬と南の馬・火垂るの墓・さくら・となりのトトロ・未来少年コナン・たたりの学校・ぼくとあいつのラストラン・メガネをかけたら・きつときつとだいじょうぶ・図書室の日曜日・きいろいばけつ・だれか私に友だちをください・ねこまた妖怪伝説・1冊のおくりもの・あたまのドリンクなぞなぞ話・がっこうかっぱのイケノオイ・シップせんちょうとくじら・パンケーキを食べるサイなんていない？・あっ・オオカミだー・クリーニング屋さんのふしぎなカレンダー・一期一会トキメキ1等賞・はらぺこパンタ・崖の上のポニョ・猫の恩返し・学校クエスト・わんわん探偵団 おりこう・ちゃんとたべなさい・ドラゴンクエストⅢ・せかいいちの名探偵・猫の恩返し・もののけ姫・千と千尋の神隠し・いぬと私の10の約束・ともだちや・りっぱなおおかみになりたい屋・さすらい猫ノアの伝説・フルーツポンチはいできあがり・うさぎのラジオ・かあちゃん取扱説明書・これは本・スペースシャトルぶんどり大作戦・さっちゃんのまほうのて・雨あがり・クリーニングやさんのふしぎなカレンダー・マジックツリーハウス パンダ救出大作戦・事件だよ、全員集合・ぼくとボチの探偵手帳・真夜中の学校・かんがえるかえるくん・天使のかいかた・金曜日が終わらない・お星さまのレール	鳥の図鑑(2)・トリックアートクイズ(2)・日本を走る列車195・こびと観察入門・長友佑都・松井秀喜 あきらめない心・水の生き物・めいろあそび5・誕生日占いのひっさつわざ・メダカのたんじょう・ウサコレプチ・スポーツクラブのひみつ・天然水のひみつ・テレビゲームのひみつ・赤毛のアンと花子・保険のすべて・アイスクリームのひみつ・地震のサバイバル・昆虫世界のサバイバル

好きなシリーズ	かいけつゾロリ(21)・怪談レストラン(5)・一期一会(5)・らくだい魔女(4)・ナツカのおばけ事件簿(5)・ルルとララ(3)・ほねほねザウルス(2)・マジックツリーハウス(2)・はんぴらり(2)・新・学校の怪談(2)・こまったさん(2)・ナビルナ(2)・黒魔女さん(2)・マーメイドガールズ(2)・ダイナソーパニック・新花子さんがきた・小説ちびまる子ちゃん・徳間アニメ絵本・マジカルストリート・学校の怪談・小説ショコラの魔法・オバケのアッチ・一年一組・探偵チームKZ事件ノート・ゲゲゲの鬼太郎・ドラゴンスレイヤーアカデミー・お願いフェアリー・日本のおばけ話・プロジェクトX・シャーロックホームズ・ビースト・クエスト・ニックシャドウの真夜中の図書館・オオカミ少年ドルフィ・ポケネコ・〇〇〇の日曜日・ホラー横丁13番地・くいしんぼうチップ・オバケちゃん・ティモシーとサラ・放課後の怪談・夢をひろげる物語・魔法の庭ものがたり・ディズニーアニメ 小説版・忍たま乱太郎・キャベたまたんてい・かいぞくポケット・パイレーツ・オブ・カリビアン・あやかし探偵団・わかったさん・おばけのパケロン・魔天使マテリアル・レインボーマジック・ちいさなおはなし・レオくん・ムジナ探偵局・ミルキー杉山の名探偵・つるばら村	学研ひみつ(5)ちびまる子ちゃん(5)・名探偵コナン(3)・サバイバル(3)・ハムスターの研究レポート(3)・いじわるばあさん(2)・ブラック・ジャック(2)・トリックアート・へんしん・妖怪スポット・生きもの図鑑・こども大図鑑・探し絵ツアー・生物図鑑・ミッケ・シートン動物記
---------	--	--

題名以外の本: ずかん「魚」・車の本・昆虫・伝記・

【小学6年生】

〈本の題名またはシリーズ名〉

	分類9	分類0～8
好きな本	カゲロウデイズ(3)・バッテリー(2)・もったいないばあさん(2)・カメレオンのレオン(2)・獣の奏者・ハイキュー・新着メールが1件あります・さすらいねこノアの伝説・ムーミントロール・テメレア戦記・テニスの王子様・てんやわんや名探偵・魔界屋リリー・しろくまだって・くりいむぱん・日常の夏休み・キツネのフォースとウサギのハース・神様のカルテ・モンテ・クリスト伯・竜の巣・ハチ公物語・こぐまのクーク物語・ネクストヘイヴン・ウルは空色魔女・ルパン3世・カリオストロの城・きょうもへんてこ・ぼくと未来屋の夏・半パンデイズ・雲のはしご・天使のかいかた・あしたふたの日・白い本・ぼくの頭はどこだ・ナイトメアー・ビフォア・クリスマス(ディズニーアニメ小説)・サマーウォーズ・代表監督は11歳・弱くても勝てます・もりのほんやさん・千と千尋の神隠し・黒魔女さんが通る・ふたりはともだち・悪夢ちゃん・トレジャーハンター山串団五郎・うえきばちです・マリと子犬の物語・斎藤孝のイツキによめる！名作選小学2年生・くちぶえ番長・ABC殺人事件・きつねのでんわボックス・メン！・ゴースト・ゴースト(グース・バンプス8)・強くてゴメンね・わにのスワニー・ATOM・空を飛んだポチ・ココロあみーご・きみとのさんぽ道・わさびちゃんとひまわりの季節・ちいさなスプーン・おばさん・ジャコのお菓子な学校・犬たちをおくる日・ひろしまのピアノ・おばけのケーキ・だいじょうぶ3組	日本国憲法を口語訳してみたら・トリビアの泉・子ども電車・人体そのしくみとはたらき・高橋よしのぶ・ディズニーおもてなしの神様がおしえてくれたこと・くもりときどきミートボール・ハムスター研究レポート・ぼくの仕事はYou Tube・ちびまる子ちゃん・マリーアントワネット(伝記)・オードリー・ヘップバーン(伝記)・ミミズは耳がいい・超ひっかけ！10回クイズ大魔王

好きなシリーズ	ミルキー杉山のあなたも名探偵(5)・マジックツリーハウス(5)・ビーストクエスト(4)・怪談レストラン(3)・新・花子さんがきた！！(3)・一期一会(3)・デルトラクエスト(3)・シャーロックホームズ(2)・らくたい魔女(3)本の怪談(2)・天才作家スズ秘密ファイル(2)・ニックシャドウの真夜中の図書館(2)・名探偵(杉山亮)(2)・らくたい魔女(2)・かいけつゾロリ(2)・黒魔女さんが通る(2)・ダレン・シャン・学校の怪談・ハリー・ポッター・小説ちびまる子ちゃん・ぞくぞく村・ガフールの勇者たち・新花子さんがきた！！・ポケネコにゃんころりん・ロアルドダールコレクション・小説黒子のバスケ・ファオランの冒険・ショコラの魔法・レイトン教授・わかったさん・小説北斗の拳・ぐりとぐら・小説名探偵コナン・グレッグのダメ日記・ドキドキ小学校・ナツカのおばけ事件簿・お願いフェアリー・マルガリータのぼうけん・少年少女日本文学館・ダヤン・ちゃおノベルズ・ぼくら・ぼくらのミステリータウン・ジブリ・ドラゴンクエスト・ナルニア国・妖怪ナビルナ・角川文庫・らくたい魔女・ドラゴンスレイヤー アカデミー・青い鳥・妖怪アパートの幽雅な日常・IQ探偵ムー・旅の仲間・アンティークFUGA・飛べ！ぼくらの海賊船・若おかみは小学生！・平成うわさの怪談・ホーキング博士のスペースアドベンチャー・お願い！フェアリー・都会のトム＆ソーヤ・そばかすイエシ・赤毛のアン・ブンダバーとなかまたち・10分で読める物語・マジカル少女レイナ・ワンピース(小説)・トキメキ図書館妖怪ウォッチ・わくわくライブラリー・銀河へキックオフ	学研ひみつ(11)・名探偵コナン(5)・恐怖！！都市伝説(4)・学研まんがNEW日本の歴史(4)・サバイバル(3)・ディズニー(2)・きらめき12星座(2)・NEOの図鑑・愛のメルヘンギリシャ神話・プロジェクトX・ハムスターの研究レポート・うちの三姉妹・将棋教室・古代生物・年代早覚え歴史マンガ・ウォーリーを探せ・マギ・進撃の巨人・ブラック・ジャック
---------	---	--

題名以外の本: サッカー関係(3)・スポーツ関係・バスケットボール関係・テニス関係・推理小説・色の本・こわい話
ありません(2)

問3 (中学生) 好きな作家

作家の名前を書いてください。忘れてしまった人は、本の題名またはシリーズ名を書いてかまいません。

【中学2年生】

〈好きな作家〉

〔日本の作家〕

芥川龍之介・あさのあつこ・有川浩・池井戸潤・伊坂幸太郎・尾田栄一郎・加藤シゲアキ・小林深雪・谷川俊太郎・辻村深月・中田永一・長友佑都・夏川草介・夏目漱石・はやみねかおる・東野圭吾・百田尚樹・星新一・美嘉・湊かなえ・村上春樹・森絵都・山田悠介・唯川恵

〔外国の作家〕

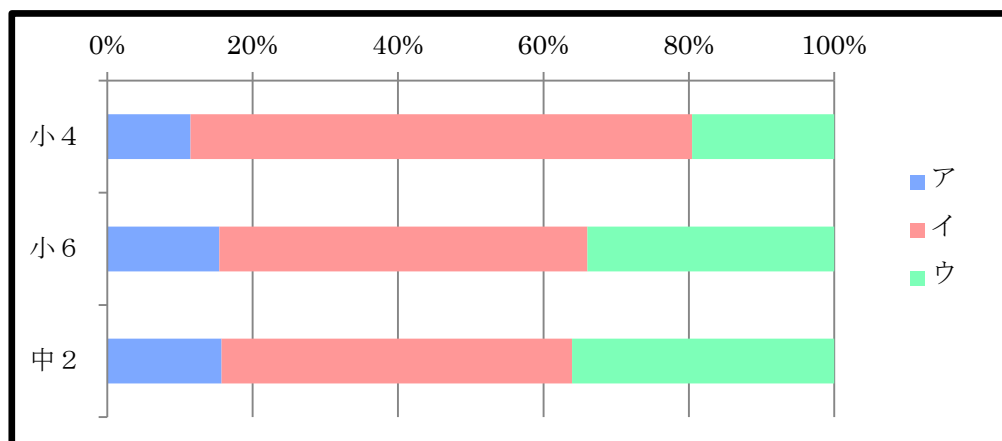
エミリー・ロッダ

〈本の題名またはシリーズ名〉

	分類9	分類0～8
好きな本	左手一本のシュート(3)・犬と私の10の約束(2)・カラフル(2)・はてしない物語・雨の降る日に学校に行かない・くちぶえ番長・ナルニア国物語・進撃の巨人(小説版)・浜松渚の計算ノート・暗黒女子・日本全国妖怪スポット・トイストーリー・ハッピーバースデー・吾輩は猫である・クローズ・ハッピーノート・おおかみ子どもの雨と雪・怪盗レッド・塔の上のラプンテル・きつねのでんわボックス・魔女の家・鍼灸真髓・ドクターサンタの住宅研究所・きょうりゅうがくれたなつやすみ・今日恋はじめます・星の王子様・冒険者たち・蜘蛛の糸・ぼくのおばあちゃん・ロミオとジュリエット・ココロ屋・きまぐれロボット・グリム童話・二分間の冒険・サクリファイズ・あおぞら・銀の匙	ディズニーありがとうの神様から教えてもらったこと・症状から見抜く本・ソフトテニス
好きなシリーズ	バムとケロ(3)・ワンピース(2)・ログホライズン・からすのパンやさん・ちはやふる(小説版)・ビーストクエスト・東京バンドワゴン・ムーミン谷の仲間たち・戦力外捜査官・空の中・テニスの王子様(小説版)・とある魔術の禁書目録・生徒会の一存S・碧陽学園生徒会議事録・ハリーポッター・ディズニー・図書館戦争・ママチャリ・君に届け・マジックツリーハウス・走れT校バスケット部・ぼくらの七日間戦争・キノの旅・レインボーマジック・名探偵コナン・カゲロウデイズ・ソードアートオンライン・ハンガーゲーム・M・OZU・ぐりとぐら・パーティミアス・スペック・小説千本桜・ダレンシャン・キャプテン翼・ドラゴンスレイヤーアカデミー・アイドルダイアリー・デルトラクエスト・名探偵シャーロックホームズ [ケータイ小説] 赤い糸・恋空・小さな約束・キミノ名ヲ・そんなきみの方程式	空想科学読本(2)・頭の体操・スラムダンク・ドラえもん・図解雑学

問4 読書に関連する行動

(1) 授業以外で学校図書館を利用しますか。



ア よく利用する

イ ときどき利用する

ウ ほとんど利用しない

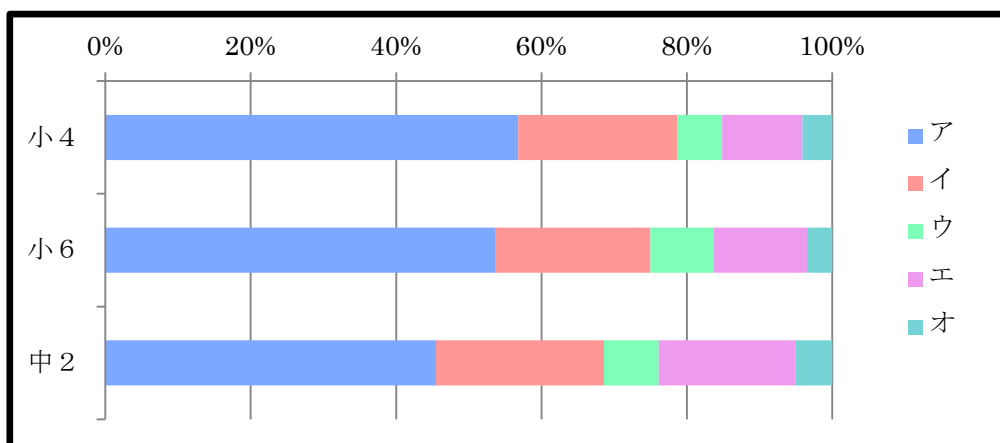
問4(1)	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア	31	11.4	49	15.4	44	15.7
イ	187	69.0	161	50.6	135	48.2
ウ	53	19.6	108	34.0	101	36.1

■考察

- ・「よく利用する」と回答する児童・生徒は、いずれも全体の1割強いる。
- ・「ほとんど利用しない」と答えた児童・生徒も、学年が上がるに従い増える傾向がある。

○学年が上がるに従い利用頻度が少なくなっていることから、図書館に行かなくても本が手に取れる読書環境を整える必要性もあると考えられる。

(2) 学校図書館を利用する目的は何ですか。(複数回答)



ア 本を読んだり、借りたりするため

イ 調べものをするため

ウ 勉強したり、教え合ったりするため

エ 友だちと情報交換(中2は会話も含む)をしたり、
気分転換をしたりするため

オ その他

問4(2)	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア	221	56.8	247	53.7	181	45.5
イ	85	21.9	98	21.3	92	23.1
ウ	24	6.2	40	8.7	30	7.5
エ	43	11.1	59	12.8	75	18.8
オ	16	4.1	16	3.5	20	5.0

〈その他の回答〉

【小学4年生】

委員会活動 (3)・本の予約をするため・本を借りるため・全部読み終わったから・いろいろなことを知るため・本を見に来て、次に何を借りようか選ぶ

【小学6年生】

委員会活動 (2)・図書の先生のお手伝い(図書整理など)・漢字を覚えるため・おもしろい本があるから・休み時間に、ひまな時があるから・落ち着くため・本の絵をかくため・楽しいから

【中学2年生】

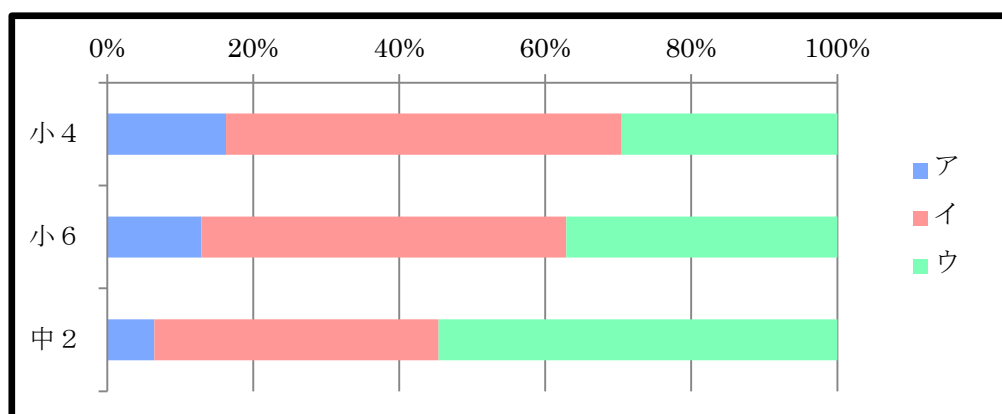
先生と話をするため (3)・待ち合わせ (2)・涼みに行くため (2)・ひまだから (2)・折り紙の折り方を学ぶため・サッカーなどのテクニックやコツを知るため・利用する目的がない・ほとんど読まないから

■考察

- ・全学年をとおして様々な理由での利用目的があり、その中でも「本を読んだり借りたりするため」、「調べ物をするため」、「友だちとの情報交換や会話・気分転換をするため」の順で利用目的の割合が多い。
- ・「本を読んだり借りたりするため」と答えた児童・生徒は、全学年において一番多い回答だが、学年が上がるに従いその割合は低くなっている。
- ・学年が上がるに従い友だちとの情報交換や気分転換のための場としての利用が増える傾向がある。
- ・「勉強したり、教え合ったりするため」には、あまり利用しない傾向がある。

○学校図書館が頻繁に利用されるようになるためには、本の貸借機能の充実や、読書意欲の促進のための取組だけでなく、調べるための図書資料の充実、司書のレファレンス能力の向上や良い図書館環境作りが重要である。

(3) 学校の見学以外で公共図書館を利用しますか。



ア よく利用する

イ ときどき利用する

ウ ほとんど利用しない

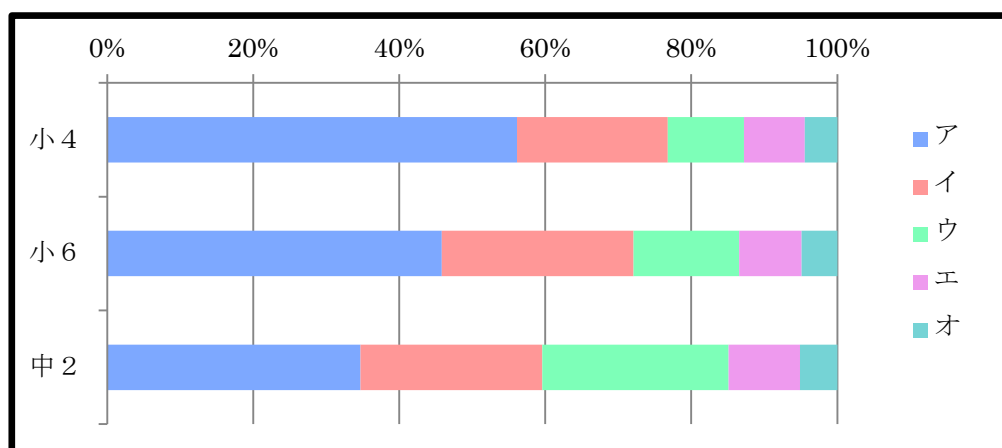
問4(3)	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア	44	16.2	41	12.9	18	6.4
イ	147	54.2	159	50.0	109	38.9
ウ	80	29.5	118	37.1	153	54.6

■考察

- ・「よく利用する」と答えた児童・生徒は、学年が上がるほど少なくなっている。これは学校図書館と逆の結果である。「ときどき利用する」と答えた児童・生徒とあわせても、学年が上がるほど利用率が激減している。
- ・「ほとんど利用しない」と答えた児童・生徒は、「問4」の学校図書館を「ほとんど利用しない」と答えた児童・生徒の割合を小4と中2で大きく超えている。
- ・中2は、公共図書館をほとんど利用しない生徒が約半数いる。

○公共図書館の利用が少ない結果が見えてきたことからその要因を探り、いかにして公共図書館を利用してもらうか、その手立てを考えることが大きな課題である。

(4) 公共図書館を利用する目的は何ですか。(複数回答)



ア 本を読んだり、借りたりするため

イ 調べものをするため

ウ 勉強したり、教え合ったりするため

エ 友だちと情報交換(中2は会話も含む)をしたり、気分転換をしたりするため

オ その他

問4(4)	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア	215	56.1	225	45.8	170	34.7
イ	79	20.6	129	26.3	122	24.9
ウ	40	10.4	71	14.5	125	25.5
エ	32	8.4	42	8.6	48	9.8
オ	17	4.4	24	4.9	25	5.1

<その他の回答>

【小学4年生】

いろいろな本を読みたいから・図書室にない本を見たいから・ビデオやDVDを見に行く・返したりする・涼みに行く・ひまつぶし・利用したことがない (3)

【小学6年生】

ビデオをみる (5)・DVDを借りるため (2)・調べたいことがあるから・いろいろな本があって読みたいから・まだ読んでいない本やおもしろそうな本を探す・小さいいとこに本を借りて読んであげるため・気に入った絵を写したいから・まちあわせ・楽しむため・暇をつぶす・行ったことがない

【中学2年生】

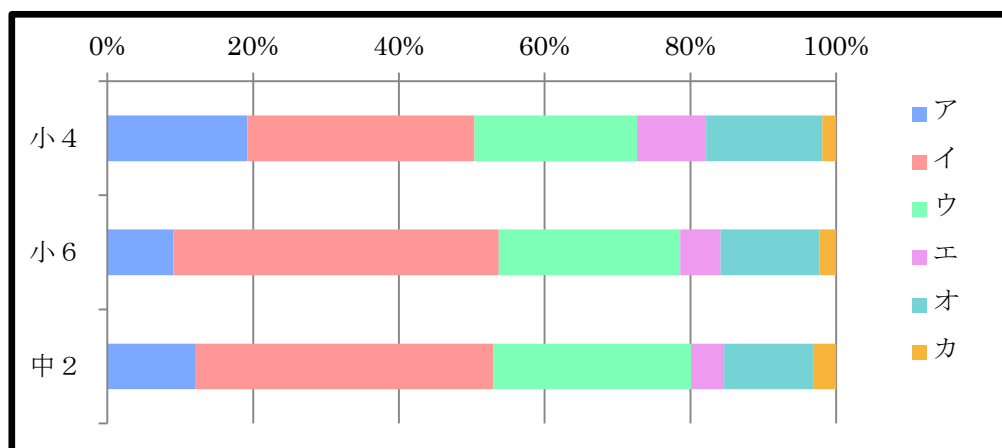
雨の日の迎えまたは待ち合わせ場所として (4)・ひまだから (2)・詩などを読み心を落ち着かせたい・ブレイクのため・ビデオを見る・涼みに行く・利用しない・ほとんど読みません

■考察

- ・全学年とも学校図書館の結果と同様に、「本を読んだり借りたりするため」と答えた児童・生徒が最も多い。次いで、小4・小6は「調べるため」の回答が多く、中2は「調べるため」に加えて友人と勉強する目的で利用する割合が増えている。
- ・学校図書館では3番目に「友だちとの情報交換や会話・気分転換をするため」、4番目に「勉強したり、教え合ったりするため」の順であったが、公共図書館では順位が逆転している。
- ・情報交換や気分転換のための場としての利用は、少ない傾向である。

○公共図書館は学校図書館とは利用目的が多少異なり、学習目的の利用も多いことから、資料の充実を図ると共に、課題解決の支援をいかにするかが課題である。

(5) 本に関することで良くすることは何ですか。(複数回答)



問4(5)	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア 友だちと本の貸し借りをする	81	19.2	44	9.1	61	12.0
イ 本屋さんに行く	131	31.1	217	44.7	208	40.9
ウ テレビや映画で話題になった本を読む	94	22.3	121	24.9	138	27.2
エ 国語の教科書に出てくる本を読む	40	9.5	27	5.6	23	4.5
オ 友だちと本の話をしたり、おすすめの本を教えあったりする	67	15.9	66	13.6	62	12.2
カ その他	8	1.9	11	2.3	16	3.1

＜その他の回答＞

【小学4年生】

お母さんにすすめられた本を読む (2)・弟と一緒に本を読む・インターネットで見た本を読む・家の人に教える・本を読む

【小学6年生】

家族で読書をする・お母さんに進められた本を読む・インターネットで見た本を読む・家の人に教える・楽しむため・新しく出た本を読む・読みたいから・そういうことをしない・利用しない

【中学2年生】

好きな本を読む (2)・その本の別の視点を考える (2)・題名などで面白いかなんか考える (2)・好きなイラストレーターが表紙を書いた本を購入して読む・好きな本をじっくり読む

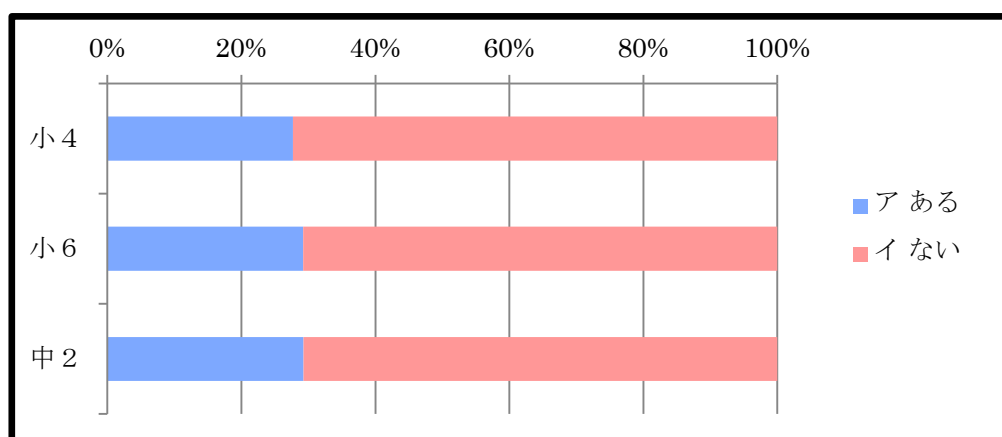
■考察

- ・全学年とも「本屋さんに行く」の回答が一番多く、次いで「テレビや映画で話題になった本を読む」が多くなっている。
- ・「国語の教科書に出てくる本を読む」と答えた児童・生徒の割合が低い傾向があることから、学校図書館として、国語教科書に出てくる図書資料の周知やPRをしっかりと行っていくことが必要である。
- ・「友だちと本の貸し借り」・「友だちと本の話をする」を合わせると2～3割になる、友だちと本を通しての交流があることがわかる。

○「その他」で利用したことがない、利用する目的がないと答えている児童・生徒には、利用方法についてのアドバイスのような手立てが必要であると考えます。

- ラジオ、テレビ、インターネットなど様々な媒体から、本に限らずいろいろな情報を得ることが可能な状況の中、自分で本を選び購入する児童・生徒が多いと考えられる。学校図書館や公共図書館で本を選ぶ場合は、司書の目を通して選書しているのである程度安心できるが、子どもが自ら選ぶ本については、大いに懸念されるところである。したがって、アンテナを常に高く張り、児童・生徒の選ぶ本の情報収集に努めると共に、子どもたちに本の情報提供をおこなって、自分で選書ができるように支援していくことが必要である。
- 学校図書館では、学級担任の先生方と協力して、教科書採択の本を子どもたちが読むような取組を積極的に企画実行していく必要がある。
- 本屋さん足を運ぶ児童・生徒が多いことから、中央市付近の書店と連携することが子どもの読書環境を充実させる大きな要素になる。

問5 電子書籍を利用したことがありますか。



問5	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア ある	75	27.7	93	29.2	82	29.3
イ ない	196	72.3	225	70.8	198	70.7

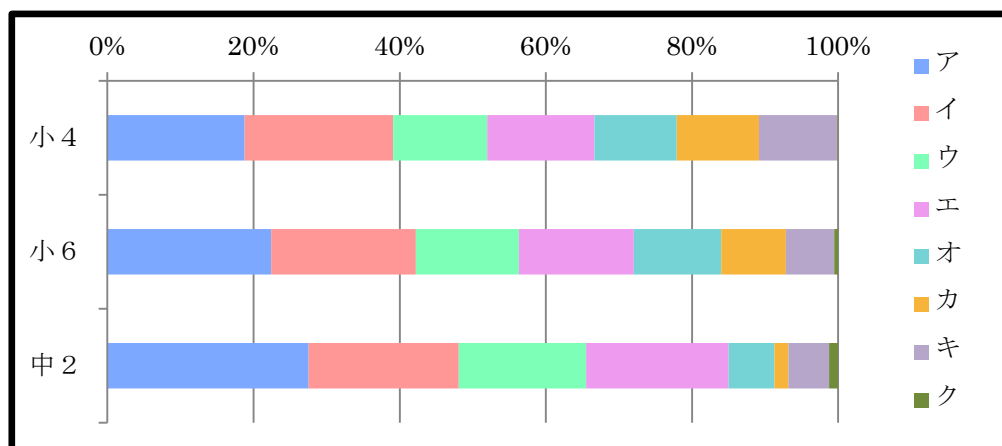
■考察

- ・学年を問わず、約3割程度の児童・生徒が「利用したことがある」と答えている。今後どのように変わっていくかを見ていく必要性を感じる。

- パソコン、携帯電話、携帯情報端末などの普及により、児童・生徒が電子書籍に触れる機会が多くなってきている。今後増加していくことを見据え、電子書籍についての理解を深め、紙媒体の本と電子書籍のそれぞれのメリットを最大限に生かした利用法を考え、児童・生徒に指導していく必要性がある。

問6 読書後の行動（複数回答）

この1年間で、本を読んで次のようなことをしたことがありますか。



ア その本のシリーズや続編を読んだ

イ 同じ種類の本を読んだ

ウ 同じ作者の本を読んだ

エ 読みたくなった本を図書館や本屋に探し
に行った

オ その本について感想や絵を書いた

カ 読書の記録として、本の名前や作者の
名前を書いた

キ 友だちや家の人と本について話し合った

ク 作者や出版社に手紙を書いた

問6	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア	175	18.8	241	22.4	202	27.5
イ	190	20.4	213	19.8	151	20.6
ウ	120	12.9	152	14.1	128	17.4
エ	137	14.7	169	15.7	143	19.5
オ	105	11.3	129	12.0	46	6.3
カ	105	11.3	95	8.8	14	1.9
キ	100	10.7	71	6.6	41	5.6
ク	1	0.1	6	0.6	9	1.2

■考察

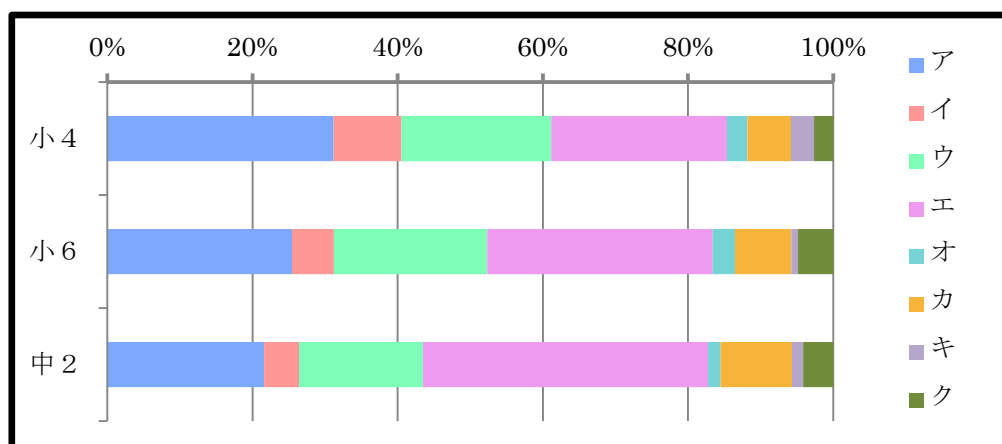
- ・「その本のシリーズや続編を読んだ」・「同じ種類の本を読んだ」・「同じ作者の本を読んだ」と答えた児童・生徒は、全学年で半数以上を占め、学年が上がるほどその割合は高くなっている。1冊の本を読んだ事による読書の広がりを示す数値である。
- ・「読みたくなった本を図書館や本屋に探しに行った」といった能動的な行動をとった児童・生徒も、学年が上がるに従い多い傾向がある。
- ・「その本について感想や絵をかいた」と答えた小学生は1割を超えているのに対し、中2は非常に低い傾向がある。
- ・「読書の記録として、本の名前や作者の名前を書いた」児童・生徒は、小4で学年が上がるほど割合が低く中2では激減している。
- ・「友だちや家の人と本について話し合った」と答えた児童・生徒も同様に、学年が上がるにつれ少なくなっている。

○山梨県教育委員会では「家族と一緒に本を読み、本について話し合い、家族のコミュニケーションをはかろう」と「家読」を推進しているが、まだまだ浸透していないと考えられる。学校図書館では、今まで以上に家庭や地域を巻き込んだ読書推進活動を進めていくと共に、児童・生徒への働きかけだけでなく、たとえば親子読書の推進や読書環境の整備を保護者に呼びかけるなど、家庭や地域に対する働きかけを積極的に行っていくことが重要である。

そして、読書が場所を問わず日常的に行われ、生活の中に定着していくような読書活動や環境作りを進めていかなければならないと考える。公共図書館においては、家族がそろって利用できるような資料提供や催し物を充実させると共に、家庭や地域に対する読書推進の広報活動を活発に行い、家庭における読書環境作りを支援していくことが重要である。

問7 読書に関連する人的環境（複数回答）

本についてよく話をするのは誰ですか。



問7	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア 父・母	166	31.1	141	25.5	99	21.6
イ 祖父・祖母	50	9.4	32	5.8	22	4.8
ウ 兄弟姉妹	110	20.6	117	21.1	78	17.0
エ 友だち	129	24.2	172	31.0	180	39.3
オ 担任(中2は国語の先生も含む)の先生	15	2.8	17	3.1	8	1.7
カ 図書館の先生	32	6.0	43	7.8	45	9.8
キ 公共図書館の司書	17	3.2	5	0.9	7	1.5
ク その他	14	2.6	27	4.9	19	4.1

〈その他の回答〉

【小学4年生】

いとこ（3）・おばさん・塾の先生・知り合い・人形（ぬいぐるみ）・話さない（3）

【小学6年生】

いとこ（3）・はとこ・塾の先生・赤ちゃん・知り合いの人・親戚・話さない（8）

【中学2年生】

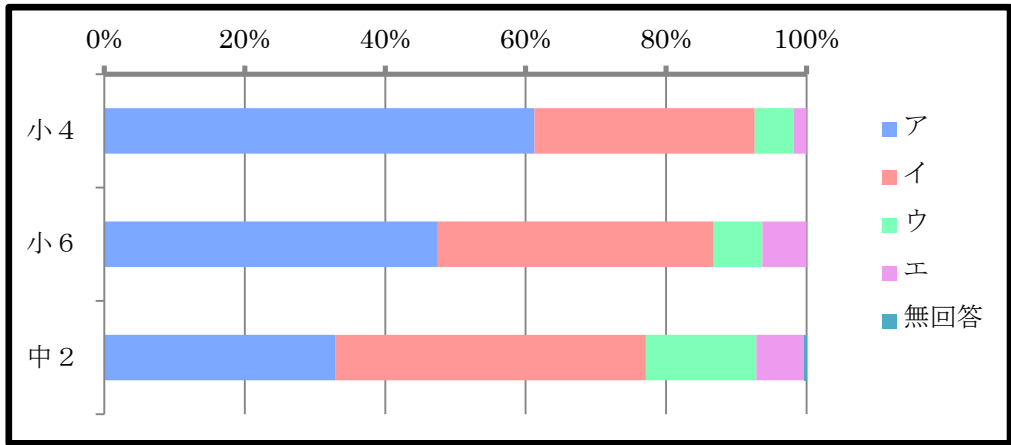
おばさん・いとこ・話さない（9）

■考察

- ・本について良く話をするのでは、小4は「父母」が一番多く、次いで「友だち」となっているのに対し、小6・中2は「友だち」が一番多く、「父母」が2番目となっている。
- ・「父母」・「祖父母」・「兄弟姉妹」を「家族」としてとらえると、本に関して家族内で話す割合が小学生では半分以上と大変高く、学年が上がるほど低くなっている。
- ・学校の先生や公共図書館の司書からの声かけの必要性も伺える。

- 家庭での読書環境が大切であるかがわかる数値である。親子に限らず、家族内での本に関する話が弾むように、学校図書館や公共図書館では、家庭における読書の活性化を進めるような取組を考えていく必要がある。また、友達からの影響も大きいと考えられるので、児童・生徒の多様な興味関心に応えられるよう、幅広いジャンルからの選書をおこない、個々の児童・生徒に対するきめ細やかな読書指導を行っていく必要がある。
- 学年が上がるに従い友だちが身近で影響を与える存在になることが予想されるので、小学校の早い時期から友だちどうし、本の紹介をしあえるような手立てや環境づくりを提供していくことが大切である。
- 「話さない」と答えた児童・生徒に、読書には分かち合い共感し合う楽しさもあることを教えていきたいと考える。

問8 読書に対する意識
本を読むのは好きですか。



ア 好き
イ どちらかというと好き
ウ どちらかというと嫌い
エ 嫌い
無回答

問8	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア	166	61.3	151	47.5	92	32.9
イ	85	31.4	125	39.3	124	44.3
ウ	15	5.5	22	6.9	44	15.7
エ	5	1.8	20	6.3	19	6.8
無回答	0	0.0	0	0.0	1	0.4

■考察

- ・本を読むことが「好き」・「どちらかというと好き」と答えた児童・生徒は全学年ともに高い割合を占めたが、学年が上がるにつれその割合は低くなっており、年齢が上がるにつれてだんだん読書から離れてしまう傾向があることが分かる。
- ・「どちらかというと嫌い」・「嫌い」と答えた児童・生徒はどの学年にも少なからずおり、学年が上がるにつれその割合は増加している。

- 全国的にも、高学年になるほど、あるいは子どもたちの成長と共に、読書嫌いになる傾向があるのは常々言われてきたことではある。その現状を食い止めるべく、学校図書館や公共図書館では、児童・生徒の読書に対する抵抗感を無くし、読書の楽しさを体感したり、読書の有用性を認識できるような取組を考えて実践していかなければならないと考える。
- 学校図書館では、本好きな子どもを増やすために朝読書や読書週間などの取組を充実させ、低学年から本を読もうとする能動的な姿勢を育んでいくことが大切である。また子どもたちの欲する本についての情報を常に意識して収集し、選書に反映していくことと、個々の子どもの読書意欲を喚起させるようなきめ細やかな読書指導を行うことも大切である。

7. まとめ

この調査により、市内の小中学生の読書環境や読書状況等の実態が把握できたことは、中央市司書会として読書活動推進の一つとなった。

調査項目については昨年度の検討結果を受け、改善した内容で実施したところ一部の修正箇所が明らかとなった点は再検討も視野に入れ考えていきたい。今回の調査を試みる中でみえてきた課題は調査を深めていくことが必要である。学校ごとの分析結果については学校内での読書活動推進に役立てていきたい。また市立図書館での地域における子ども読書推進の一助にもしていきたい。

この「中央市読書調査結果」は、次回策定する「中央市子ども読書活動推進計画（第三次）」に反映させる。

8. 調査用紙等

- 「学校読書調査」調査用紙
- 「学校読書調査」集計用紙

「中央市読書調査結果 2014年度」

平成27年3月31日

編集 中央市司書会

発行 中央市立図書館